

児童発達支援事業

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターひまわり		
○保護者評価実施期間	2025年10月3日		~ 2025年10月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間			~ 2025年10月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長年の療育実績がある	職員研修・学習会	引き続き療育実践を積み重ねる
2	職員体制が手厚い	子どもと関わる際、通常よりも倍近い人配置をしている	各職員のスキルアップ
3	家族支援にも力をいれている	親子教室・懇談会・学習会・相談に乗るなど	兄弟支援の検討
4	分野を超えた多職種との連携を大事にしている	併設している他事業所との連携を行うことで支援の連携に関して検討をしている	今後も連携を実施していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療系専門職が不在	長年の療育実践の積み重ねで児童発達支援を医療・訓練の場ではなく生活の場であることを重視する理念の為	OT・ST・PT・看護師・心理師などの配置検討
2	地域住民との交流が減っている	行事に地域住民を招くには事業所が狭い	子ども家庭センターに力を借り地域への理解を広める 交流理解を得やすい関係性の所から実績を作っていく
3			

## &lt;外部評価&gt; 第三者委員：山田駒平

事業の対象となる児童は健常児に比べ生活のすべてにむずかしい問題を抱え、親御さんご自身の生活と仕事を抱える中でご苦労は並大抵ではないと思います。こうした条件のもとでこれに立ち向かって健闘されている職員の皆様のご苦労に心から敬意と感謝を申し上げます。保護者の8割近くの皆さんが有効回答を寄せられている事に確信を持っているのではないのでしょうか。私は数十年前甲府でのいずみ園開設の頃から関わってきた経験から、親御さんの悩みに入り添い励まししながら、子どもたちがかかえる問題、次々と襲い掛かる難題にひるまず、一人一人の子どもを大切に、あらゆる発達の可能性を信じて創造的な保育をされてきた保育士さんのひたむきで明るい活動から、いつも学ばされてきたものでした。「ひまわり」自身の自己評価でも、長年の療育実績が、その実践と研修・学習を通じて積み上げられてきた事を確信しています。この姿勢から手厚い職員体制、親子教室、懇談・学習と言う家族支援の改善に突っ込んでいる事を確信させられました。事業所の弱みとしてみずから認めている医療系専門職の不在については、共立福祉会と合併し、同福祉会が山梨勤労者医療協会と協力して、医療・福祉のしっかりした連携をつくってゆく事でより優れた事業の補強、前進を図っていただきたい。特に発達に関しては、小児リハビリテーションの援助と内容の充実を期待します。地域住民との交流は、健常児の交流とは異なり、個々の子どもたちの状況に寄り添いながらご理解を重ねる努力が必要だと思います。地域からの苦情については、私が「苦情処理委員」と担当してから10年近くの間、苦情はなく、ひまわりの皆さんの日頃の丁寧な努力の結果と感じてきました。子ども家庭センターの力を借りる事は大切だと思います。

児童発達支援事業

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援センターひまわり		公表日		2026年3月1日		利用児童数		22		回収数		17	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	空欄	ご意見		ご意見を踏まえた対応						
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	1	0	じっくり見た事が無いので分かりません。	定員規模に対する子ども一人あたりの居室面積の制度の基準や児童指導員等加配加算、専門的支援加算を算定しながら基準の2倍近くの児童指導員・保育士の配置をしています。 保育の様子はいつでも見学する事ができますので、事業所内での様子をご覧頂きたいと思います。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2	0	1	0	子ども達と先生達のやり取りを見ていないので分かりません。	小さい園児に対しては職員が抱っこしながら一緒に物を取ったり感じ取れる様に子どもの発信を大事に支援していきます						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	0	0	教室に行ってもあまり感じた事が無いけど小さい子が届きにくい高さはあるかな?と思います。	今後も整理整頓、清掃、消毒等環境整備心掛けていきます						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0	0		生活面に特化した支援を重視している為、医療専門職の配置がありませんが、支援に必要なとも思うので検討します。						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0	0		日頃の支援に関しては児の様子を確認し合いながら幅を持たせた支援計画を実施するようにしています						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	2	0	1	0		月1回クラス会議を実施しこどもの活動内容や関わり方に関して検討を行っています。他にも支援の中で課題や検討が必要な事が生じた際には臨時での職員会議やクラス会議を実施し検討を行っています。面談や懇談会を通じて相違があった場合にも実施しています						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	0	0	0		同じことを繰り返し行うことの大切さも含め他事業所での取り組みも参考にしながら工夫を検討します。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	0	0		今年度途中から市内保育園との交流会を月1回する事が出来ています。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	1	0	0		不明な点は遠慮なく質問して下さい。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	1	0		疑問、分からない事に関しては随時お知らせ頂き、説明を行わせて頂きます						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	1	0	0	0	今年度から交流が始まり子供も刺激を貰えている様です。楽しみも。	毎週水曜日のかみふうせん（親子保育）や懇談会・学習会などの実施が、親子での向き合い方や保護者同士の学び合いの場となるようにしています。 園での様子家での様子を共有したり、困り感を考え合う工夫をしています。 センターとしての学習会を子育て支援課に協力を仰ぎ実施し周知しました。						
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0	0		いつでも丁寧に教えて頂いています。常に伝えあう事が出来ている為、安心していきます。							
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0	0		登園時は子どもの安全確保が必要なので、個別に話しをしたい場合は申し出ていただければ、時間を設定致します。 子どもの様子に合わせて一緒に考え、共通理解しながら同じ方向を向いて支援していきます。							
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	0	1	0									
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0	0									

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	0	0	障がい児を持つ親の気持ちを受け止めて様々な視点でアドバイスをして共感してくれるのでありがたいです。	家庭訪問や個別懇談は全園児に必ず行い、定期的に面談する機会を設けている他、臨時的な相談にも乗っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0	0		今後も努めてまいります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	3	1	0	父母：「はい」兄弟：「わからない」2兄弟がいないので兄弟の支援は分かりません。もっと行われると良かった。	家族参加できる行事などはありますが、兄弟向けに特化した支援はないので検討します。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	0	0	0	急な相談でも対応していただきありがとうございます	苦情解決体制について重要事項説明書に明記しています。また、相談や申し入れに関しては保育体制を整え対応を行いたいと思いますので、適宜お伝えください
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0	0		連絡帳や登降園の引継ぎの際に児の様子や気になる事の伝達に活用して頂き、今後も意思疎通、情報伝達に努めます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	2	0	2	0	通信とは紙の事でしたら、毎日丁寧におたよりにて頂いているのでありがたいです。おたよりは毎月ありますが、SNSやHPIは発信は無いと思います	月1回の園だより配布にて発信しています。今後SNS（インスタグラム）での発信も行う形をとります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0	0		個人情報取り扱いに関するルールを再度整備し周知しています。今後も留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	1	0	年1で地震を想定した訓練がある様ですが、マニュアルは分かりません	少しずつではありますが、マニュアル作成や訓練を実施しています。入園・始業式の際に配布をしていますのでご参照ください
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	1	0	行われているの分かりませんが大丈夫だろうと信頼しています	2024年度より作成し法人ホームページにて公開しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1	0	病院受診が必要なかどうかは分からない事があった。今の所事故の発生が無いので分かりません	傷病発生時対応マニュアルに記載しています。怪我の様子等細やかな説明を心掛けます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	0	今のクラス・メンバー・先生の事が好きな様で穏やかに通所出来ています。	ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	0	嫌がる事無く通園しています。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0	0	たまたまかもしれませんが、去年と今年のクリスマス会が同じ曜日でリハビリがあり参加する事が出来ませんでした。リハビリだけでなく併行通園の子にとっても曜日は固定しない方が参加できる可能性が増えるのもし可能でしたらイベントの曜日は年度ごとに変えて頂けると嬉しいです。	会議実施、行事に伴う延長保育、放課後等デイサービス無しの曜日への検討は年間通じて偏りが生じない様に実施していましたが、行事実施曜日を統計的には設定していませんでした。行事によっては曜日を固定して実施しているものもありますが、今後は前年度の行事曜日も検討しながら設定していけるように心掛けてます

## 児童発達支援事業

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターひまわり		公表日		2026年3月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	空欄	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	0	部屋や収納棚の使い方 部屋の大きさが違う為部屋の大きさを考慮した園児の配置を行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	0	人数配置は基準より多く配置をしています。	延長保育児が増えている中でお迎えの時に担当職員が対応に行ってしまうと玩具等で遊んでいてトラブルが生じた時に困る時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2	0	各クラス、子どもの状況に応じて物の置き方や部屋の使い方等工夫するなど配慮をしている。	壁の材質上貼れるテープや場所等限りがある為配布物が集まりやすく見づらさがある。 さくらクラスの水道が小さく使いづらい時が多い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	0	清掃を担当する職員を配置したことで、細部まで配慮できるようになった。 共同募金を活用しながら床の張替えを実施	エアコン、棧、冬場使用しない扇風機等ほこりが溜まりやすい。週明けに排水口の臭いがきつい日がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	0	ホールや相談室などを活用し個別の対応を必要に応じて実施している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	1	毎月の保育内容会議(常勤職員参加)、クラス会議(常勤・非常勤参加)実施	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	0	2017年度より実施	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	3	0	クラス会議、保育内容会議、次月予定会議を実施する中で意見を出す場所を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0	2	2024年度より苦情解決第三者委員が参画する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	0	勤務内で研修や学習会を行い、現場職員体制も保障 全職員が参加しやすい研修方法として行事後や勤務に応じて研修を設け、研修当日に参加出来なかった職員に関しては書面で学べるよう回覧ファイルを活用し各自確認できるようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	0	2024年度より作成、公表	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	0	半年に1度個別支援計画作成時にアセスメントも作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	0	クラス毎に会議実施	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	0	クラス会議で共有	記録ファイルに入っているが非常勤職員への共有の仕方は改善が必要
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	1	「言語社会」「姿勢運動」「認知適応」「生活習慣」「家庭状況」の項目を設定した園作成の様式を使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	1	5領域の支援を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	1	クラス会議で検討	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	1	クラス会議で検討	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	1	クラス会議で検討しクラスだけで解決できない等は保育内容会議で検討事項として挙げ意見を出し合っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	1	時間を取るのがなかなか難しいがリーダーの時にはどんな流れでどんな事を目的にするか伝える様にしている	その日にすり合わせは難しい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	1	終了後毎日必ずは出来ていないが、クラス会議内では振り返られている。常勤同士でも出来ている。	それぞれの勤務がある為時間を合わせたり振り返りをする事は難しさがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	1	「言語社会」「姿勢運動」「認知適応」「生活習慣」と項目に分けて記録し、総合的な視点で記録を残せるようにしている。	午睡の時に必ず記録をするので、溜まる事も無く助かっている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	0	一年を上半期・下半期に分け、半年に1回は必ずクラス会議でモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	1	児童発達支援管理責任者、クラス担任、必要に応じて園長が参画	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	0	園内で完結できない問題等、各機関に相談したり、保護者支援も含め情報交換している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	0	年1回の訪問を行い、併行通園先での児の様子や状況を把握し合いながら連携を実施している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	1	引継ぎの資料を作成し、引継ぎ会議に参画 市町村によっては教育委員会との連携も実施している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	2	2	自立支援協議会児童部会や児童連絡会の代表となり、地域課題の検討や事業所同士の交流連携に取り組んでいる。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0	2	職員体制が許す範囲で研修参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	0	2	主に園長、児発管が参画しているが、内容に応じて現場職員が参加するものもある。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	0	1	年度途中からではあるが、近隣の保育所との交流保育を行う事が出来た。今後も継続していきたい	企業型保育所と交流保育が出来て子供たちの経験値が一気に増えると思う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	2	連絡帳や登園降園時に様子を伝えるようにしている。個別懇談を実施。定期懇談以外に希望や必要に応じて懇談をおこなっている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	2	毎週水曜日のかみふうせん(親子保育)や懇談会・学習会などの実施が、親子での向き合い方や保護者同士の学び合いの場となるようにしている。園での様子家での様子を共有したり、困り感を考え合う工夫をしている。センターとしての学習会実施		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	1	入園契約時に全園児に行っており、時間が長くなるため、ポイントを絞って説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	1	個別懇談時に話し合われた内容を計画に反映させている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0	1			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	1	二者面談、日頃の面談を実施している		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	1	月1回役員会を実施 保護者会が実施する活動に協力している。茶話会、懇談会を行っている。地域で行われるイベント等の周知を実施している	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	1	苦情解決体制について重要事項説明書に明記し、掲示板でも公開している 連絡帳やバス乗降時、ひまわり送迎時、職員が対応し、それを園長、主任、各クラス担任に伝えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	1	園だよりを毎月発行し活動概況や行事予定などをお知らせしている。 行事に関するお便りもその都度配布 SNS（インスタグラム）での発信を開始	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	0	個人情報取り扱いのルールを作り職員で共有した	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	1	必要に応じて写真や絵カードを活用したり、保護者にはお便りについて追加で説明するなどしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	2	月1回自治会長含め近所7件に会報配布	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	0	各種マニュアル整備。 119番通報、不審者対応、バス園児見落とし訓練等行い不参加の職員にも書類等で共有している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	0	感染症・災害それぞれを設定してBCP研修・その他訓練を実施	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0	0	入園時アセスメントで確認している。 各クラスで対応方法などについて書類にまとめている 必要に応じて受診に同行し直接医師に詳細を確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1	0	生活管理表の提出と促し医師の指示で除去な食材はもちろん、食べて可能な食材も、園では安全な給食対応として保護者との確認のもと、除去しているものもある。（加熱マヨネーズの可否など）	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	1	安全計画に関わる研修・訓練を実施している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	2	法人ホームページにて公開している事をお便りにて周知	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	1	毎日記入のヒヤリハットの様式を用意し、小さなことでも作成し意識向上するようにしている。記録から統計を知る為に書式変更を検討している	それぞれの意識が必要
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	2	法人内で研修会を実施。虐待防止の指針についても職員全体で確認した。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	2	身体拘束に関する指針をまとめ、法人内研修会で職員全体でも確認した。		